

島田市における教育の在り方についての提言書（概要）

島田市の教育理念（キャッチフレーズ）

「地域総ぐるみで進めましょう ^{ゆめいく} 夢育・^{ちいく} 地育の花咲く 島田の教育」

—学校・家庭・地域が一体となって、理想とする教育を目指す—

○ 理念実現のための基本的方向性（5項目）

1. 地域が主体性を持って教育に参画し、学校と協働して共に教育を支えるしくみを整えること。
2. 地域の文化や伝統を継続するために、地域が主体性を持って教育機能を分担するしくみを整えること
3. 就学前からの家庭教育を地域全体で支えるしくみづくりを進めること。
4. 今後必要とされる学校再編については、適正規模や学校施設の老朽化の状況などを考慮するとともに、地域の生活や文化・伝統の存続及び活性化を島田市全体で支えるという前提のもとに、これを検討していくこと。
5. 以上を実現していくため、学校・地域それぞれにおいて、組織のあり方を必要に応じて見直し、力を集約して改善に当たる方策を検討し、島田市（市長部局）と島田市教育委員会とは協力してこれを支えていくこと。

○ 理念実現に向けた手立て（4項目）

1. 将来の夢を育て、夢によって成長する子供を育む「夢育」の中核的活動として、英語教育や先進科学技術教育・ICTの活用などを推進し、これらを学校の諸活動と関連づけることで、世界的な視野をもち市民性豊かな子供を育てていくための教育を充実させること。
2. 地域に根ざして成長し、自ら地域を育てていく子供を育む「地育」の中核的活動として、就学前から学齢期までの成長プロセスを通して、地域の特色・魅力づくりに関係していくための活動を導入し、地域・家庭・学校それぞれの役割を明確化し、これを足かぎりに子どもの成長環境の改善を図ること。
3. 今後、学校教育に課されることが予想される「社会に開かれた教育課程」、「アクティブ・ラーニング」、「カリキュラム・マネジメント」、「コミュニティ・スクール」、「チーム学校」、「小中一貫教育」等の課題に対し、個別に対応していくのではなく、これらの課題を有機的に関係づけ、核を形成して対応していくこと。
4. 児童生徒の教育環境充実の観点から学校再編を検討し、学校建築の工夫も含めて学校配置の最適化を模索すると同時に、当該地域の文化・伝統の維持や地域活性化を図っていくこと。

・効果的に導入していくための方策（3つのプロセス）

- ① 課題に応じ専門的なワーキンググループを立ち上げて、具体的計画を策定し、これを実現に移していくための議論を開始すること。
- ② 試行地域を設定し、教員加配等の予算措置も講じた上で、その成果・課題を検証すること。
- ③ 中長期計画を策定し、試行地域の成果と学校負担への影響を見極めつつ、漸次的に市内全域に拡大していくための方策を整備すること。